NO.41 株式会社北四国グラビア印刷 香川県

グラビア印刷の自社一貫製造体制 それぞれの部門が柔軟に連携

おもてなし経営のポイント

- 自社一貫製造体制だから実現できる、要望への的確で素早い対応
- 全員参画型で、働きがいにもつながるQC活動
- 社員を大切にしていることが伝わる、多様な活動と施設、制度の整備

徹底した入場管理と、それを支える社員一人ひとりの５Ｓ活動により、事業所や工場内は常にきれいに保たれている

企画デザインから印刷まで、すべての工程を内製化することで、顧客からの要望にも柔軟に対応できている。

QCサークルの活動が、月２回のミーティングごとに貼り出される。

経営理念と企業文化

危機感から生まれた経営改革 顧客満足だけでなく社員満足も

株式会社北四国グラビア印刷は、香川県の観音寺市に工場を持つグラビア印刷の会社で、ナイロンやビニールと呼ばれる透明フィルムに印刷・加工した、食品やサニタリー用品、雑貨などのパッケージを製造している。

代表取締役社長の奥田拓己氏は京都の大学を卒業後、修行として大手インキメーカーに入社。1990年にUターンして父が創業した同社に入社した。修行先から帰ってきた奥田氏は、社員のモチベーションの低さや設備の古さなど、ギャップに戸惑った。当時の北四国グラビア印刷は、会議も開いたことがなく、人事制度も経営計画もない。相当な危機感を覚えた。このままでは５年、10年と会社が続かないのではないかと思った奥田氏は、当時の社長である父親に進言。すぐに新工場を建設した。仕組み面では、人事制度をつくり中期経営計画を発表した。その後もITシステムの整備やISOの取得など、急激に改革を進めていった。

そのころ、社員アンケートに次の声が多く見受けられるようになった。「お客さまの満足だけでなく、私たち社員の満足も考えてほしい」。そこで奥田氏は、人事制度と中期経営計画に社員満足向上についての取り組みを反映させ、社員を大切にする経営を始めた。ES（社員満足）向上委員会を立ち上げ、月に一回は必ずレクリエーションのイベントを企画。社員の誕生日には社長が直筆のバースデーカードを送るようにした。また、快適な休憩室や社員食堂をつくってES向上に努めた。さらには、社員の健康や大切な人との時間を大事にするために、業務形態は印刷業界では珍しい一勤制（原則として早朝勤務や夜間勤務のない通常勤務）にした。改善が進むごとに、社員は、「自分たちを大事にしてくれている」と感じてくれるようになり、長く勤める社員から「以前よりずっと雰囲気が明るくなった」と言われるようになった。

「社員の体（栄養面）と心（コミュニケーション）の健康のために」と設置した社員食堂。「同じ場所で同じものを一緒に食べる」という連帯感から生まれる効果は大きい。

QC活動（品質管理活動）や５Ｓ活動（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）にも力を入れている。全社員が何かしらのQCチームに参加しており、各チームが月に２回必ず集まってミーティングを行なっている。全員が自由に発言できる雰囲気があり、若い社員も分からないところを教えてもらいながら楽しく参加できる。これは社員の働き甲斐にも寄与している。５Ｓ活動も徹底されており、オフィス環境や工場は非常にきれいな状態に保たれている。

お客様との関係強化

自社一貫製造体制と全員営業、５Ｓ活動

同社では「ダントツサービス」を提供している。「ダントツの品質」、「ダントツのコストダウン」、「ダントツのサービス構築」など、ほかを大きく引き離すほど優れたサービスを提供しようというものだ。その実現に貢献したのが自社一貫製造体制である。以前は、本番印刷前の見本を紙で出力していたが、紙で出力したものではフィルムの光沢感や質感を表現できず、見本の役目を果たせないことが多かった。「色見本と最終製品で色が合わないのは仕方ない」という考えが定着していたのだ。しかし、自社で企画デザインから印刷まですべてを内製化することで、既成概念を打ち破った。まず、特殊なプリンタを導入し、色見本を実際の製品に近い透明フィルムに印刷できるようにした。また、他社では企画デザインや製版を別々の会社に外注することが多いのだが同社ではこれを内製化。印刷部門の社員が各部門と密に連携を取ることによって、デザイン段階から最終製品まで一貫した色再現を実現することができている。自社一貫製造体制は、顧客からの急な要請に対しても柔軟に対応することが可能となった。加えて、以前は希望の色合いが出せずにやり直していた時間が削減でき、より短納期での対応が可能になったのである。同社では「納期は品質」と考え、付加価値を高めている。

「全員営業」は同社の共通語である。毎日顧客のもとに商品を届ける配送担当のドライバーも、積極的に顧客との情報交換を行なっている。顧客から受けた要望や困りごとは、関係部署と即座に共有し、複数チームを横断した形で改善や提案に直結させている。全社員で取り組む５Ｓ活動は７年目を迎え、工場の見学者から非常に高い評価を受けている。現在同社は、印刷業界では類を見ない、食品の衛生基準FSSC22000の認証取得に取り組んでいる。食品の外装パッケージを担う印刷会社として、食品メーカーと同等の基準を得ようと努力しているのだ。言うまでもなく、「お客さま第一主義」が如実に現れた取り組みなのである。同社では積極的に、顧客を工場見学に招いている。印刷工程や管理体制を見てもらう以外に、QC活動や５Ｓ活動など、普段は顧客から見えない部分での取り組みも紹介する。それが顧客の安心や信頼に結び付き、新たな受注や、受注増にもなっている。社員の連携が活きる自社一貫製造体制。これに評価が集まる現状は、北四国グラビア印刷が着実に努力を続けてきた道のりの正しさを証明しているかのようだ。

会社概要

- 法人名：株式会社北四国グラビア印刷
- 代表者：奥田 拓己 代表取締役社長
- 所在地：香川県観音寺市粟井町755
- 設立年月：1970年創業
- 事業内容：各種グラビア印刷、軟包装資材の企画・製造・販売
- 社員数：正規88名、パート・アルバイトなど4名
- ホームページ： http://www.kitashikoku-g.co.jp/